

研究名称

胃生検における *Helicobacter heilmannii* に関する研究

1. 研究の対象

2020 年 1 月～2022 年 12 月に自衛隊中央病院で胃生検検査を受けられた方

2. 研究目的・方法・期間

[研究目的]

Helicobacter pylori 菌(いわゆるピロリ菌)は人の胃粘膜に感染し慢性胃炎や胃癌の原因となると知られています。これと同様に人の胃粘膜に感染するとされている *Helicobacter heilmannii* 菌(ハイルマニー菌)という細菌については、その有病率の低さからまだ知られていないことも多くなっています。ピロリ菌とハイルマニー菌との違いはその特徴的な形態にあるとされていますが、培養環境においてピロリ菌がハイルマニー菌の様な形態を呈することがあるとの報告があります。そこで今回人の胃粘膜においてハイルマニー菌の形態を呈する細菌に関して遺伝子学的手法を用いた解析を行い、ハイルマニー菌とピロリ菌とを鑑別し、今後のピロリ菌およびハイルマニー菌の識別を含めた病態に関する通常診断の一助とすることを目的とします。

[研究方法]

2020 年 1 月～2022 年 12 月までの間に自衛隊中央病院診療技術部病理課に集積された胃生検症例を病理組織学的、細菌学的に再検討し、臨床所見及び病理学的所見について解析します。具体的には以下の 2 通りの検索を予定しています。

- (1) ハイルマニー菌の形態を呈する細菌を、蛍光によって遺伝子を観察する fluorescent in situ hybridization(FISH: フィッシュ)法を用いて、ピロリ菌とハイルマニー菌に分け、胃粘膜においてピロリ菌がハイルマニー菌の形態を呈することがあるか検索します。
- (2) ハイルマニー菌がフィッシュ法で確認できた検体について、その患者さんの血液中のピロリ菌に対する抗体の有無や、尿素呼気試験という一般的なピロリ菌検査の結果をカルテから収集し、ピロリ菌との識別に有用な、一般的な検査があるかを検索します。

[研究期間]

本研究は、学校長承認後から 2024 年(令和 6 年)8 月 31 日にかけて行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、検査所見、病理検体所見 等

試料: 胃カメラで生検した組織 等

4. 研究に用いる試料・情報の管理者

分担研究者である栗原歩および本研究に直接関わらない自衛隊中央病院診療技術
部病理課 臨床検査技師 船木 優一、防衛医科大学校 臨床検査医学講座 齋藤
真理子が個人情報管理を行います。個人が特定できる情報は利用せず、研究用に新た
な番号を付与し復元できる情報を有する仮名加工情報を用い、公的な発表に際しては
個人が決して特定されないようにします。

5. 外部との試料・情報の授受

当校への胃生検資料の提供は、分担研究者である栗原 歩が直接持ち運んで行います。当校
での解析データの自衛隊中央病院への提供は、分担研究者である栗原 歩が研究ノート
を直接持ち運んで行います。提供の記録は当校、自衛隊中央病院で分担研究者である栗原 歩
が保管・管理します。

6. 研究組織

防衛医科大学校病院 研究責任者 松熊 晋
自衛隊中央病院 研究責任者 猛尾 弘照

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理
人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出
ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【連絡先】

分担研究者・連絡担当者：栗原 歩

〒359-8513 所沢市並木 3-2

防衛医科大学校 検査部病理

Tel: 04-2995-1505 Fax: 04-2996-5192 (電話対応時間：平日 9時から 16時)

研究責任者：検査部部长 松熊 晋